

# わたしたちこんな工夫をしています。

問 たつせがある課 ☎56-0602 財政課 ☎56-0606

NPO法人や任意団体などの市民団体がさまざまな活動を行う上での課題のひとつに「活動資金の確保」があります。この課題を解決するため、さまざまな工夫をしている団体を紹介します。

## 長久手市郷土史研究会

長久手の歴史や文化を研究する郷土史研究会。今回、秀吉と家康が唯一直接対決した小牧・長久手の戦いを知るうえで貴重な資料である495の書簡を現代語訳化した解説書を発行します。



### Q 資金確保で工夫した点は？

**A** 出版費用などで不足する部分は、活動に共感する人から寄附を募るクラウドファンディング(市のふるさと納税と連携)を活用することになっています。

### Q 取り組みに至ったきっかけは？

**A** 研究会では小牧・長久手の戦いを正しく伝えたいとの思いがあります。こうしたものをお金だけを理由にあきらめてはいけないと思い、これに共感する人から広く寄附を集めることにしました。

## NPO法人ながいく

市内の一軒家で「子育てシェアの家ぽんぽん」を開設し、主に子育てひろばや親子向け講座、昼食を提供しています。「長久手の親子を一人残らず笑顔に」するため、ボランティアスタッフとともに週3回活動しています。



### Q 資金確保で工夫した点は？

**A** 企業や個人からの賛助会費と、民間の助成金を活用しています。民間の助成金は、採用された数以上に不採用(採用率は2割程度)となっていますが、活動内容が否定されたわけではなく、助成の目的と一致しなかっただけなので、めげずに申請しています。

### Q どういった効果がありましたか？

**A** 民間の助成金は、申請の段階からどうやって活動を充実させていくかという視点で助言がもらえ、他の事業の事例をもとに伴走型の支援がもらえる点は運営上も参考になります。

### Q 大変な点は？

**A** 助成金に頼りきりではなく、賛助会員を増やしていくことが重要と考えます。私たちの活動とその必要性を知ってもらい、賛助いただけるようアピールしていくことも私たちの課題です。

団体のHP (<https://nagaiiku.org>) はこちら →

